



ぶどうの樹 サポーターズ通信

No.8

2022 Spring & Summer

発行
同志社女子大学募金事務局
(総務部総務課社会連携係内)

当ニュースレターは、ぶどうの樹サポーターズ会員（寄付をいただいた方）を対象とする会報誌です。
年2回、本学の取組みや学生の活動、募金に関する情報等についてお知らせいたします。

CONTENTS

- 02～03 小崎眞教授が新学長に就任
 - 04 日本選手権アーティスティックスイミング競技で本学学生が優勝！
 - 05 My Campus Life ～ぶどうの樹奨学金受給学生の声～
 - 06 EVENT Information
 - 07 募金事業実績のご報告
 - 08 ぶどうの樹コラム 146年前の芳名録「ROLL OF HONOR」
-



小崎眞教授が新学長に就任 創立150周年を見据え、21世紀社会を「改良」できる人物の育成を



2022年4月、同志社女子大学第15代学長に小崎眞生活科学部人間生活学科教授が就任しました。学長就任にあたり、所信を伺いました。

教育・研究活動をさらなる高みに

この度、学長に就任しました小崎眞です。本学は2026年10月に創立150周年を迎えます。歴史的転換点へ向けた架け橋となるよう、誠心誠意努めてまいります。議論を尊重し、次世代へ向けてより良き方向を模索しつつ日々精進する所存です。

本学は、開学以来一貫してキリスト教主義を建学の精神として受け継ぎ、国際主義、リベラル・アーツを加えた3本柱を教育理念として教育・研究活動に取り組んできました。記録によれば、開学の最初期より多種多様な女子の集う学び舎であったようです。近代幕開けの中、彼女たちが直面した現実に対応すべく、いわゆる自由7科(ヨーロッパ中世における高等教育程度の基礎的教科)にも通じる闊達な学び(綴字、正音、作文、文法、算術、地理、理学大意、万国史、修身学、裁縫、日本学)が展開されていたようです。最初期から本学では、自ら考え、決断し、実行する女性の育成に尽力してきました。その姿勢は「VUCA^(※1)の時代」と称される現在にも対応し得るものです。

過去の足跡を検証しつつ、コロナ禍も踏まえた現況を的確に分析し、国や社会の画一的な価値基準のみに縛られない「真理の複数性^(※2)」に根ざした取り組みを模索することが重要だと考えています。女性の育成と社会活躍を支えてきた本学の歴史を生かし、教育・研究活動をさらなる高みへ押し上げてまいります。

「Vision150」第Ⅱ期アクションプランの実践

まずは、創立150周年に向けた将来構想「Vision150」に定められた事項に着実に取り組んでまいります。取り組みを開始した2017年度からの10年間で2期に分け、第Ⅱ期アクションプラン初年度となる2022年度からは「新たな価値の創造につなげる教育の充実」「リベラル・アーツ教育の推進」「女性のリーダーシップの養成」など8つの柱を中期目標として再構築し、29の具体的な事業に取り組んでいます。

本学が有する6学部11学科の専門性・特色を生かし、時代にふさわしい教育を展開することや、学部学科の有機的な協力による横断的な学びを展開することもその一つです。そして、本学の魅力、強みを生かし、学生一人ひとりに秘められた可能性を広げ、生涯にわたり、自由に、しなやかに生きることを模索できる女性の育成をめざします。

また、現役学生の満足度や本学の魅力・ブランド力を向上させ、本学に心を寄せてくださる「同女ファン」の皆様とのより深い関係構築にも取り組んでまいります。

Vision150は「21世紀社会を女性の視点で『改良』^(※3)できる人物の育成」をコンセプトとしています。「改良」とは固定化された価値観の中で「是」とされる状態をめざすことではなく、既存の価値観から解放され、新たな可能性を拡張し続けていくことだと考えています。

社会の要請に応えうる女子大学として

現代社会の中でさまざまな形でリーダーシップを発揮し、各世代で活躍できる人物を育成するためにも、「テーマ別講義(開講テーマ:グローバル・シチズンシップ)」などの科目を新設し、これらを意識した教育・研究活動を実践してまいります。同時に、学生や卒業生が生涯にわたって社会的役割を担い、能力を発揮できるように支援と提言を行う「女性アクティベーションセンター」の一層の活性化、生涯学習社会の実現への一助として、リカレント教育プログラムの充実などを展開していきます。

デジタル化・オンライン化を推進

DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するための環境整備や業務合理化・最適化を進め、新たな付加価値を創出する施策に重点的に財源を配分していきます。本方針に基づき、教職員



※1) VUCAは「Volatility(ボラティリティ:変動性)」「Uncertainty(アンサー・トゥンティ:不確実性)」「Complexity(コムプレクシティ:複雑性)」「Ambiguity(アムビグイティ:曖昧性)」の頭文字を並べたもので、VUCA時代とは変動性が高く、不確実で複雑、曖昧さを含んだ社会情勢を示す。

※2) 「真理の複数性」とは絶対的真理は一つだけであるという立場に対抗した視座。単に多く存在しているということではなく、「独自性・差異性・対等性」をもちながら、共にあるという事態を意味する。

※3) このコンセプトで用いた「改良」は、新島襄が召天の1ヶ月前に、日本基督教婦人矯風会の関係者に寄せた「世の革命者と成られよ。否世の改良者と成りて働かれたし」の言葉からとったものである。本学が新しい歴史を築いていくにあたり創立者が抱いた女子教育への思いを受け継いでいきたいという決意表明として用いている。

のDXを推進させるために部署横断のチームを設置しました。学修者本位の教育を提供できるよう学生データを一元管理しうる基幹システムの構築も進めています。さらに、今年度より今出川・京田辺キャンパスそれぞれで開講されている科目をオンラインで接続し、対面授業を遠隔で受講することが一部で可能となり、科目選択の幅がより広がりました。その他、数理・データサイエンス・AI教育も推進してまいります。これらの教育効果を継続的に検証しながら、多様な教育の形態の可能性を模索します。

国際的視野を養う教育プログラムの展開

本学は教育理念に国際主義を掲げており、Vision150でも「国際的視野を養う教育プログラムの展開」を中期目標の一つとしています。コロナ禍における影響はありますが、一方で、オンラインの活用など新たなプログラムも開発されています。留学に限らず、国際的視点を養うことを意識した教育、語学、異文化理解、地域研究等の学びの整理を検討します。留学生の受け入れに関しても多種多様な可能性を検証し、必要な施策を講じます。



多様化社会の実現にむけて

女子大学である本学の魅力は丁寧な学生支援です。一人ひとりに全人格的に接しようとした創立者新島襄の真摯な姿勢を受け継ぎ、コロナ禍の今だからこそ、「Be Handsome」キャンペーンやビッグシスター・リトルシスター制度など、学生一人ひとりに寄り添う支援を心がけたいと考えています。学生支援も多種多様に変化しています。学生生活やキャリア支援の現場のみならず、「障がい学生サポートセンター」のさらなる充実など、組織体制づくりに取り組みます。

同志社女子大学創立150周年記念事業委員会が発足

2026年10月24日の創立150周年にむけて、本年度から記念事業委員会を発足させ、準備を進めてまいります。2022年度は10月24日～28日を「同志社女子大学創立記念週間」として本学の歴史や教育理念に触れる機会とし、10月30日(日)にはホームカミングデーと連動し、創立記念礼拝や記念イベントを予定しています。

高度な研究活動の推進

各教員が先端的研究活動に励むことができるよう、学位取得を奨励します。また、研究の活性化を図るため本学教員の「研究シーズ」の把握に努め、積極的に社会へ発信します。言うまでもなく基礎的研究をないがしろにしない研究姿勢を醸成することも必須です。

教員の研究シーズを活かし、社会課題を解決すべく産官学連携を促進し、地域社会に信頼される大学をめざします。学生にも実践的な学び・研究の場をより多く創出し、その成果を地域社会に還元できるよう「学修するコミュニティ」の構築を推進していきます。

本学がより成長していくために

本学がより創造的な教育・研究活動を行い、将来にわたって成長を続けるためには多くの資金が必要となってまいります。さらに、今ここで学ぶ学生により良い教育環境を提供し、物心両面で支え続けることができるよう、収入の多様化に努めていきたいと考えております。皆様のご賛同がいただけるようでしたら「ぶどうの樹」の募金事業への温かいご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。



2022年度募金事業について

今年度も継続して募金事業を行ってまいります。サポーターの皆様との交流の機会も数多く設けておりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。詳細は2022年度募金パンフレットをご覧ください。

- 募金名称 同志社女子大学サポーターズ募金“ぶどうの樹”
- 募集期間 2022年4月1日～2023年2月28日
- お申込金額
 - 個人…1万円 ● 法人・団体…任意 ● 教職員…1万円
 - (一口以上、一口未満のご寄付もありがたく頂戴します)



ぶどうの樹
LINE公式アカウント

大学及び当募金の最新の情報を発信しています。友だち申請やダウンロードが不要で、どなたでも簡単にご参加いただけます。ぜひご登録ください。

